

試合番号 : 466	試合会場 : ブレックスアリーナ宇都宮	観客数 : 867			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:11	試合時間 : 02:11			
主審 : 津嶋 由香	副審 : 明井 寿枝				
東レアローズ	通算 1勝 2敗 ポイント : 4	27 第1セット 25 21 第2セット 25 14 第3セット 25 25 第4セット 22 13 第5セット 15	日立リヴァーレ	通算 1勝 2敗 ポイント : 3	
監督コメント	苦しい場面も全員で粘り強く取り進むように準備をしてきましたが、オフェンス面でなかなか決定打を出せず苦しい展開となりました。ホームゲーム2日間、たくさんの方々にご協力いただき感謝いたします。次の試合へ向け、チーム全員で準備して結果を残せるよう取り組みます。本日はありがとうございました。	2	監督コメント	今日の勝利は嬉しく思います。第1セット終盤の失点を切り替え、第2セットの入りから練習してきた成果を発揮し、自分達のやりたいプレーをすることができました。最後は吉しい展開となりましたが、勝ち切ることができました。相手のミスで助けられる場面も多かった中で、自分達で勝ちに行けるよう、反省すべきところをしっかり反省し、V Cup最終戦に挑みたいと思います。今日は会場に足を運んで応援してくださった方々、画面越しで声援を送ってくださった方々、ありがとうございました。残りの試合も選手、スタッフが一球となり頑張りますので、引き続き応援よろしくお願いたします。	3
要約レポート	第1セット、序盤、東レアローズのサーブミスが目立ち、日立リヴァーレがリードする。中盤、東しは野呂、大崎のサーブで追いつくも、日立は長内、上坂のアタックで引き離そうとする。東しは粘り、サービスエースでセットを取る。第2セット、序盤は1点を争う戦いとなったが、中盤、日立は長内、内坂の攻撃が決まりリードする。終盤、日立は中村のクイック、ブロード攻撃が冴え、最後は上坂の攻撃でセットを取り返す。第3セット、序盤から日立の勢いは止まらずリードを奪う。中盤、日立はセッター境の絶妙なトス回しで攻撃の幅を広げ大きくリードし、終盤も上坂の活躍で日立がセットを連取る。第4セット、序盤から日立は上坂の攻撃、入澤のブロード攻撃が冴り、リードする。中盤、東しは野呂、小川の攻撃で応戦し追いつき、終盤に入って小川の2連続ブロックで逆転。その後も東しは粘りのサービスエースと井上のブロックで最終セットに持ち込んだ。第5セット、序盤から一進一退の攻防となった。中盤、東しは大崎のブロック、中田の攻撃でリードするも、終盤、日立が長内のブロックで逆転する。最後は日立が上坂の攻撃で接戦を制した。				

試合番号 : 467	試合会場 : 富山県西部体育センター	観客数 : 760			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:18	試合時間 : 02:18			
主審 : 北村 友香	副審 : 江下 毅				
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 1勝 2敗 ポイント : 2	21 第1セット 25 25 第2セット 20 19 第3セット 25 25 第4セット 21 15 第5セット 13	PFUブルーキャッツ	通算 0勝 3敗 ポイント : 1	
監督コメント	ホームにPFUブルーキャッツを迎えるのがゲームでした。第1セットはPFUのサーブやまさのある攻撃に苦しめられ、自分達のリズムを作れず、落としてしまいました。第2セット以降は、サーブとミドルをうまく使った攻撃で自分達のリズムをつくることができ、勝利につながったと思います。久しぶりの有観客でのホームでの試合で勝利できて良かったです。本当に沢山の声援ありがとうございました。引き続き応援よろしくお願いたします。	3	監督コメント	全員が出場し、全員が活躍して勝って終わりが良かったが、自分達のやるべきプレーにフォーカスしきれず敗れてしまっていて非常に残念でした。会場でも応援してくださった皆様、画面越しに応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。また、開催に向けてご尽力頂いた皆様、ありがとうございました。次の試合に向けて練習に励みたいと思います。	2
要約レポート	富山県をホームとするKUROBEアクアフェアリーズと、隣接する石川県をホームとするPFUブルーキャッツの対戦。リーグ戦のV・レギュラーラウンドでは1勝1敗と勝敗を五分に分けた北陸ダービー。会場には両チームのファンが大勢駆け付け、選手達の大きな勇気となった。第1セット、序盤は1点ずつ取り合う接戦となる。9・9からPFUが高相のスパイク、ジャラットのブロックなどで3連続得点すると、そこから連続得点を重ね19・13とリードを広げる。KUROBEも杉原の連続ブロックなどで3連続得点し反撃するも、点差を詰め切れず、PFUがセットを先取した。第2セット、前セットと同様にPFUが先行し、KUROBEが追いつける展開となる。PFUは10・8からアコスタのスパイク、綿引のサービスエースなどで16・10とリードを広げ、流れを掴んだかに見えたが、KUROBEは梅津のブロック、連続サービスエース、舩田の4連続スパイクで8連続得点し逆転すると、その勢いそのままセットを奪い返した。第3セット、接戦が展開される中、PFUは10・10からアコスタのスパイク、ジャラットの連続サービスエースなどで4連続得点でリードし、その後も高相、志摩がスパイクを決め、KUROBEを突き放した。第4セット、KUROBEは15・16からリーパーのバックアタック、梅津のサービスエースなどで5連続得点し逆転すると、このセットを取り、勝負の行方は最終セットにもつれ込んだ。第5セット、PFUが序盤に志摩、高相の連続スパイクで7・4とリードするも、KUROBEはリー、舩田のスパイクで反撃し10・9と逆転する。終盤は1点差の展開となったが、KUROBEは島田の連攻、最後はリーパーのバックアタックを決めてこの接戦に決着を付け、ホーム最終戦を勝利で飾った。				

試合番号 : 468	試合会場 : 山陽ふれあい公園総合体育館	観客数 : 690			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:53	試合時間 : 01:53			
主審 : 小野 将人	副審 : グレグ ルーオー				
岡山シーガルズ	通算 2勝 2敗 ポイント : 5	21 第1セット 25 25 第2セット 16 17 第3セット 25 21 第4セット 25 第5セット	久光スプリングス	通算 3勝 0敗 ポイント : 9	
監督コメント	若手選手を多く起用する中、前回ストレートで勝利した相手にどのくらいゲームが組み立てられるか、挑戦する気持ちで臨んだ。特に、今まで数回出場していない選手達が非常にアグレッシブに頑張ったことが、一番の収穫である。反省すべき点は、若手選手を使いながらも、ホームゲームで勝利を挙げることができなかったことである。今回のゲームを教訓にチーム全体で更に飛躍していきたい。2日間に渡り、多くの方々にご声援いただき、ありがとうございました。	1	監督コメント	アウェイゲームでタフな試合が予想されたが、集団力を切らさず粘り抜くべきプレーにフォーカスし、勝利することができた。相手選手の多彩な攻撃に対し、1本目をしっかりとコントロールし、攻撃に繋ぐことができたことが大きな勝因となった。また、途中出場選手たちが役割を全うし、チームを勢いづけたことも大きな力となった。1週間空くが、いい準備ができるよう調整し、次の試合を迎えたい。本日もご声援ありがとうございました。	3
要約レポート	ホームゲームで連敗を避けたい岡山シーガルズと、ここまで2連勝の久光スプリングスの一戦。第1セット、岡山は渡邊、吉岡、金田、久光は井上(愛)、アキラデウオ、今村の攻撃で互いに点を取り合うが、久光がアキラデウオのブロックなどで歩リードする。中盤、岡山は長瀬、金田の攻撃で逆転するが、終盤、粘る久光は井上(愛)の連続得点で粘る岡山を引き離し、セットを先取る。第2セット、岡山は遠藤が連続得点をあげると、久光は今村が取り返し、このセットも点を取り合う展開となる。中盤、岡山は多彩な攻撃でリードを奪うと、金田がサーブで攻めリードを広げる。終盤、久光は途中に入った濱松がスパイクを決め粘りを見せるが、岡山の勢いは止まらず、セットを取り返す。第3セット、序盤、久光はアキラデウオが連続得点しリードする。勢いのある久光は井上(愛)のサービスエースで更に得点を重ねる。岡山も渡邊、及川などの攻撃で応戦するが、久光の今村がサーブで攻め、久光がセットを取る。第4セット、序盤から久光は中川のサービスエースなどで大きくリードする。後がない岡山は選手交代で流れを変えようとするが、久光の勢いは止まらず、濱松、中川が得点を重ねる。終盤、岡山は付の攻撃で連続得点を奪うなど粘りを見せるが、最後は久光の井上(愛)がスパイクを決め、このセットも奪い勝利した。				

試合番号 : 469	試合会場 : 山陽ふれあい公園総合体育館	観客数 : 500			
開始時間 : 15:45	終了時間 : 17:56	試合時間 : 02:11			
主審 : 本間 明	副審 : 吉岡 奈々				
JTマーヴェラス	通算 3勝 0敗 ポイント : 8	25 第1セット 21 25 第2セット 20 22 第3セット 25 18 第4セット 25 15 第5セット 11	トヨタ車体クインシーズ	通算 0勝 4敗 ポイント : 2	
監督コメント	トヨタ車体は攻撃型のチームであるが、サーブを効果的に打ち、強力なサイド陣の攻撃をブロックとレシーブで繋ぎ、連続得点できた。後半、自分達のミスで相手に先行され、冷静さにつける場面があったが、バックアップメンバーが流れを引き寄せ、チーム全員での勝利となった。2連戦となったこの大会は、色々な収穫があった。次の試合では、レベルアップしたJTマーヴェラスを応援して下さる方々にお見せできるように、全力で戦ってきたい。2日間ありがとうございました。	3	監督コメント	何度跳ね返されても、次の試合に向けて奮い立たせていく。莫大なエネルギーを費やして、今日も苦しいところからフルセットに持ち込んだのは、ゲームを通しての成長である。リーグで自信をつけ、若く優れたJT相手に修正を重ね、サーブ、ブロック、ディフェンスなど初戦に比べて見違える部分もあったのは収穫だが、勝敗のかかった場面でひるまず、貪欲に守り、豪快に攻め抜く姿勢を求めて次の戦いに勝利したい。フルユニフォームを着て手書きの応援ボードを掲げて応援に来てくださったファンサポーターの皆様のおかげで、今回は応援してもらえるようチーム全員で努力します。	2
要約レポート	連勝を維持したいJTマーヴェラスと勝ち星をあげたいトヨタ車体クインシーズの一戦。第1セット、JTは西川、田中を中心に、トヨタ車体はソロカイテを中心に互いに得点を重ねる。中盤、トヨタ車体は渡邊のサーブでリードを奪うが、JTは西川のブロックで応戦する。終盤、JTは田中のサービスエースでリードを奪うと、ヒックマンのブロック、田中のスパイクでリードを奪い、セットを先取る。第2セット、JTは柴田のサーブでリードすると、西川のサービスエースやブロックで勢いに乗る。トヨタ車体は大川のサーブや、ソロカイテのスパイクで追いつき、終盤まで一進一退の攻防が続くが、JTはセッター、西川、田中らがスパイクを決め、セットを連取る。第3セット、序盤は互いに譲らず点を取り合う展開。中盤、後のないトヨタ車体は山形のスパイクやソロカイテのブロックなどで連続得点し、リードを奪う。JTも田中のスパイクで応戦するが、トヨタ車体は大川、渡邊が得点し、セットを奪い返す。第4セット、勢いに乗ったトヨタ車体は数田のブロックでリードする。JTはタツダがサーブで攻め、ヒックマンがブロックを決め追いつくが、勢いに乗ったトヨタ車体は大川の連続得点などでJTを突き放し、セットを連取る。第5セット、序盤から一進一退の攻防となるが、JTは西川のブロックなどでリードする。トヨタ車体は渡邊の気迫のこもったスパイクで応戦するが、JTは田中を中心に得点を重ね、勝利を収めた。				